

第2期鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に関する  
パブリックコメントにおける市民意見一覧

【意見提出者数4名、意見提案数9件】

No.	所管部課	意見の概要	市の考え方
1	政策経営部 めがねのまちさばえ戦略課	鯖江＝めがねという知名度が高まっているように私も感じているが、総合戦略のコンセプトとして、「世界のめがねの聖地SABAE」とされることに大風呂敷を広げすぎではないかと思う。まだまだ、鯖江＝めがねの知名度は高くないと思うので、ぜひ情報発信に力を入れてほしい。	コンセプトである「世界のめがねの聖地SABAEの確立」の“めがね”とは、眼鏡産業だけを指すものではなく、繊維や漆器、農業などの「ものづくり」はもとより、これらの産業を支えてきた女性の活躍や、歴史、伝統、文化、自然、環境、市民性など鯖江市固有の地域資源の全てを象徴するものです。「めがねのまちさばえ」の知名度が高まった今、より高い目標として、これらの資源に磨きをかけ、世界に向けて魅力を情報発信し続けることで、多様なステークホルダー（組織活動におけるすべての利害関係者）が本市に集まってくるような、世界が認める「めがねの聖地さばえ」を目指してまいります。結果、鯖江＝めがねの更なる知名度向上にもつながることになります。
2	政策経営部 めがねのまちさばえ戦略課	人口減少について、若者のUターン、Iターンへの対策がとれていないと思われるので、若者層への対策（住みよさ、子育てのしやすさ）が必要だと思う。併せて、企業誘致をすることにより、市外からの転入も増加すると思われる。	基本目標Ⅱ「若者が住みたくなるまちの創造」－基本施策1「若者の夢を応援するまち ～よそ者に寛大で多様性があるまち～」－実施施策④「U I ターン者定住促進」等に、U I ターン者への住まいなどの支援策を記載、基本目標Ⅲ「若くて元気なまちの創造」－基本施策1「安心して結婚・出産・子育てができるまち」に、子育て支援策について記載しております。  また、基本目標Ⅰ「魅力ある雇用の創出」－基本施策3「若者に魅力ある働く場の確保」－実施施策①「企業立地の推進」に、企業誘致を促進する旨を記載しております。  これらの施策を実行し、U I ターン者の確保に努めてまいります。

<p>総務部 防災危機管 理課</p>	<p>「まち・ひと・しごと」には含まれないのかもしれませんが、「防災・空き家問題」は重点的に厚く取り組む必要があると思われまます。SDGsにも「防災・空き家問題」はあてはまると思うので、人口減少と共に重点取り組みをすべきと考えまます。</p>	<p>総合戦略の先導的、横断的な取組みである4本の重点施策の一つ「SDGsの推進」の3本柱の一つに、新たに「強靱かつ環境にやさしいまちづくり」を掲げ、防災・減災機能の強化を図ることとしているほか、基本目標Ⅳ「安心して快適に暮らせるまちの創造」－基本施策4「強靱で安全・安心なまち」に、空き家対策を含む防災対策などについて記載しており、今後、全ての人が安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。</p> <p>なお、令和2年度より「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づいた「鯖江市空家等対策計画」を年度内に策定します。この計画により市内の管理不全の空き家の増加を抑制し、良好な生活環境の保全および安全で安心な地域社会の実現を図ります。</p>
<p>政策経営部 めがねのま ちさばえ戦 略課</p>	<p>SDGsについてですが、今取り組みの大きな柱になってますが、私を含め一般市民はほとんど理解できてないと思われまます。SDGs＝女性活躍みたいな構図ばかりで、他のSDGsの取り組みをどう行っているのか？そもそもSDGsとは何なのか？SDGsによって鯖江市はどうなるのか？見えてません。私が勉強不足なのかもしれませんが、今の重点取り組みだと思いまますので、もう少し分かりやすい説明が必要かと思いまます。</p>	<p>SDGsの各目標と総合戦略の実施策の関係を「7「総合戦略」とSDGs対比表」に記載してあります。</p> <p>SDGsについての説明については、ご指摘のとおり不十分でしたので、説明を加えさせていただきます。</p> <p>なお、SDGsは、持続可能でよりよい世界を目指すための国際目標で、地球上の誰一人取り残さないことを誓い、日本も積極的に取り組んでいまます。SDGs達成のためには、地方、地域、住民一人一人が、自ら取り組みそうなことを実行すること、多くの人々の小さな一歩が最も重要ですので、引き続き、広報や各種イベント、出前講座等にて、市民の民様へのSDGsの普及啓発に努めてまいります。</p>

	<p>政策経営部 めがねのま ちさばえ戦 略課</p>	<p>「さばえファン（関係人口）」の獲得とありますが、現状値と目標値の指標が分からないのと、獲得者に対してどうアプローチしていくのが鍵だと思うのですが、見えていない気がします。</p>	<p>地方への移住・定着を促進するためには、第1期総合戦略で取り組んできた地方移住を直接促進する施策を引き続き展開するだけでなく、将来的な移住にもつながるよう、地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくることが重要であることから、特定の地域に継続的に多様な形で関わる、交流人口以上、定住人口未満である関係人口の獲得に取り組むこととします。獲得した関係人口に対しては、第1期総合戦略に引き続き、基本目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに記載しております、就職・住まい・子育て支援の情報や本市の魅力を発信し移住・定住人口につなげてまいります。</p> <p>現状値 6,200 人は、市の実施事業のうち、関係人口の獲得につながると考えられる事業に平成 31 年度までに参加された人数を掲げました。目標値 9,700 人は総合戦略の計画期間 5 年間において、関係人口の獲得につながる事業に毎年 700 人の参加者を募ることを目標としております。</p>
<p>3</p>	<p>政策経営部 めがねのま ちさばえ戦 略課</p>	<p>基本目標ⅡおよびⅢにおいて、若者や女性主体の活性化プランが創造されていますが、誰もがゆくゆくは高齢者になる身。高齢者になっても住み続けられるまちづくりの創造がないのは疑問があります。</p>	<p>基本目標Ⅲ「若くて元気なまちの創造」－基本施策 3「生涯現役で生涯青春のまち」に、誰もが生涯にわたり、健やかで自立した生活を送りながら、目的を持っていきいきと活動し、長寿による豊かさを実感できるよう、様々な場面で高齢者や障がい者が活躍できる環境づくりを進めていくことについて記載しており、高齢者になっても健康で生きがいを持っていきいきと住み続けられるまちづくりに努めてまいります。</p>

<p>総務部 市民まちづくり課</p>	<p>市外流入者が増えると起こりえる既存住民との問題。いかに融和して共存・共栄で協力し合えるまちづくりを創造していくのも重要な課題と思います。大半の町内においては、区長をはじめ各種委員を決めることに力が注がれ、それが決まればもうその方にお任せという風潮で、町内の魅力あるまちづくりを創造することは皆無に等しい状況です。活力あるまちづくりは魅力ある鯖江市を創造する上で不可欠なものです。創意工夫がしやすいまちづくりの創造もお願いしたいところです。</p>	<p>基本目標Ⅱ「若者が住みたくなるまちの創造」－基本施策5「参加と協働による市民主役」に、「若者を含む幅広い層の市民がふるさとに愛着を持ち、誇りややりがいを持って自ら市政や地域経営に直接携わることができるようシェアリングエコノミーの推進や、必要に応じて利用しやすい公共施設のあり方を検討するなど、市民が活動しやすい環境づくりを進めることで、一人でも多くの市民参加によるまちづくりを目指します。また、各地区において住民自らが創意工夫を凝らした事業を行い、地区の活性化に取り組む住民自治の更なる充実を図ります。」と記載しており、第1期総合戦略に引き続き、市民主役のまちづくりに取り組んでまいります。</p> <p>なお、現在、持続可能な地域運営の基盤づくり、人と人をつなげるコーディネートに興味のある人材を発掘し、人材育成を図ることを目的とした「市民まちづくり応援団」が各地区単位で立ち上がっており、今後もこの「応援団」を中心として、地域（地区・町内）でのまちづくりに意欲の高い人材の発掘育成を図ってまいります。</p>
<p>総務部 総合交通課</p>	<p>基本目標Ⅳでは交通網の整備の施策がありますが、これでは高齢者が安心して暮らせるまちづくりにはなりません。マクロな交通網はもとより、もっとミクロな交通網を考えていかなければ免許証返納者や高齢者、障がい者等への住みやすいまちづくりには成り得ないと考えられます。</p>	<p>基本目標Ⅳに掲げた事業につきましては、鯖江市交通ビジョンの中でさらにその課題を整理し、それに基づいた個々の取組みの中で、ミクロなレベルでの交通網の整備を検討してまいります。なお、基本目標Ⅲで、高齢者など誰もが安心して暮らせるよう地域住民とともに移動手段の確保に努めることを記載しております。</p>

4	<p>教育委員会 生涯学習・ スポーツ課</p>	<p>高年大学の全員学習日や開校式、閉校式、学園祭には多くの受講生が参加するため駐車場が不足し所定外の場所に駐車する人もいることから一般通行者に迷惑をかけている。①全員学習日は嚮陽会館で開催する、②全員学習日を廃止する、③受講生の定員・定年制を設ける、④定員超過の時はつつじバスによる通学を要件化するなどとしてはどうか。</p>	<p>高年大学の全受講生が一堂に会する開閉校式、学園祭、全員学習などの諸事業においては、車両による敷地内外の混雑の解消および近隣の皆様への配慮から、自治会役員や駐車場ボランティア等受講生の協力を得て、駐車場と安全の確保に最大限努めているところです。</p> <p>また、つつじバスの利用促進を呼びかけることにより、自家用車での通学抑制にも心掛けており、今後とも地域に根差し、地域に理解される生涯学習の拠点として活動してまいります。</p> <p>ご提案のありました②の全員学習日の廃止につきましては、全員学習そのものが受講生同士の交流機会として高く評価されていることから考えておりませんが、①のご提案のような会場の振り替えや実施回数（現在年4回）の縮減につきましては、地域配慮の観点から今後検討してまいります。ご提案③の定員・定年制、④の通学ルールの厳格化につきましては、受講生数の抑制につながる恐れがあることから、市民に平等に生涯学習と地域参加の場を提供することで社会生活の充実を図ることを本旨とする本学の建学精神に照らし合わせると、導入することは極めて困難であると考えております。また、近年の受講生数は減少傾向にあることから導入の必要性はないと判断しております。</p>
---	----------------------------------	--	---